

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助の基盤と専門職Ⅱ			必修 (社) 選択 (精.心)	2	1	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
田村 正人		講師控室	kyoumu		Teams	
授業の目的・概要	<p><目的>相談援助では社会問題をミクロレベルからマクロレベルまで幅広い視点で取り組む必要があることを、学生がディスカッションやGW等を通じて考え、理解を深めることを目的とする。</p> <p><概要>本講義ではソーシャルワーク実践でソーシャルワーカーが身に着けなければならない基本となる、価値・倫理・知識・技術・機能・理論等について必要性を明らかにする。</p>					
学習上の助言	教科書や配布資料から気になるワードを自分なりに文献で調べることで探求する姿勢を身に付けてほしい。講義の質問や疑問についてはオフィスアワーかメール、リアクションペーパーで受け付ける。					
教科書	相談援助の基盤と専門職 第3版 (新・社会福祉士養成講座) 編:社会福祉士養成講座編集委員会 出版社:中央法規出版					
参考書	指定参考書なし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワークの価値・知識・技術の関連性について理解し説明できる				HSU(2)	
②	ソーシャルワークの価値・倫理について重要性と意義について理解し説明できる				HSU(1)	
③	ソーシャルワーク実践の基本的視点を理解し説明できる				HSU(2)	
④	ソーシャルワーカーの役割や意義、専門性について理解し説明できる				HSU(2)、社(2)	
⑤	ソーシャルワークの役割や意義、専門性について理解し説明することができる。				HSU(2)、社(2)	
⑥	講義やディスカッション等を通じて、自分の考えを整理して言語化することができる				HSU(6)、社(1)	
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価についての説明、学習方法について理解する。)、前期振り返り	同時双方向型授業	シラバスを把握しておく 教科書の内容を把握しておく		2	
2	専門職倫理とジレンマ①専門職倫理の概念と必要性について学び理解する。	同時双方向型授業	教科書 (第7章第1、2節) を読んでくる。		4	
3	専門職倫理とジレンマ②ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマを具体的事例から学ぶ	同時双方向型授業	教科書 (第7章 第3節) を読んでくる。		4	
4	総合的かつ包括的な相談援助の全体像①地域を基盤としたソーシャルワーク ソーシャルワークの基本的視座を学び理解する。	同時双方向型授業	教科書 (第8章 第1、2節) を読んでくる。		4	
5	総合的かつ包括的な相談援助の全体像②地域を基盤としたソーシャルワークの八つの機能について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 (第8章 第3節) を読んでくる。		4	
6	総合的かつ包括的な相談援助を支える理論①ジェネラリスト・ソーシャルワークを学び理解する。	同時双方向型授業	教科書 (第9章 第1、2節) を読んでくる。		4	
7	総合的かつ包括的な相談援助を支える理論②システム思考とエコシステムを学び理解する	同時双方向型授業	教科書 (第9章 第2節) を読んでくる。		4	
8	総合的かつ包括的な相談援助を支える理論③ストレングス・パースペクティブ、マルチシステムについて学ぶ	同時双方向型授業	教科書 (第9章 第2節) を読んでくる。		4	
9	ソーシャルワーカーが専門職であることの成立要件、独自性、職能団体の役割等を学び理解する。	同時双方向型授業	教科書 (第10章第1、2節) を読んでくる。		4	
10	相談援助専門職の範囲と諸外国の動向について理解する	同時双方向型授業	教科書 (第10章第3節) を読んでくる。		4	
11	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能①個と地域の一体的支援を学び理解する。	同時双方向型授業	教科書 (第11章 第1節) を読んでくる。		4	
12	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能②予防機能を学び理解する。	同時双方向型授業	教科書 (第11章 第2節) を読んでくる。		4	
13	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能③新しいニーズへの対応機能・総合的支援機能を学ぶ	同時双方向型授業	教科書 (第11章 第3、4節) を読んでくる。		4	
14	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能④多問題家族への支援を学び理解する。	同時双方向型授業	教科書 (第11章 第5節) を読んでくる。		4	
15	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能⑤権利擁護機能・社会資源開発機能を学び理解する。	同時双方向型授業	教科書 (第11章 第6、7節) を読んでくる。		6	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	30	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	10	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	10	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。試験は講義で用いた教科書、配布プリントから出題するので、予習や復習を行い理解度を確認すること。 ・試験形式（筆記試験） ・問題形式（選択式・記述式・穴埋め式など）			試験結果を掲示する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥	✓					
レポート	①	✓	学生が学んだことの理解度を振り返り、確認するため、定期的に小レポート（600~800字）を課して、まとめて論じる力を問う。 6回目の授業でレポート課題を出す。			レポートは添削して返却する	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義中に理解を深めるため、学生間で小グループによるディスカッション等を実施する。 授業で学んだことや疑問、意見などをリアクションペーパーで提出して頂き、意欲的に学ぶ姿勢を評価する。			授業で提出したリアクションペーパーは次回授業時に評価をして返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥	✓					
備 考							
<p>Microsoft Teams をつかった同時双方向型授業を行う。 課題ダウンロードや映像共有を行うため授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>【履修についての条件】 *社会福祉士、精神保健福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。</p> <p>【受講する際の注意事項】 ・ソーシャルワークの基本を学ぶ科目なので、授業を通してなぜ社会でソーシャルワークが必要なのかを考えてほしい。 ・授業中は積極的な発言を歓迎する。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は禁止する。 ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。</p> <p>教員の実務経験： 社会福祉士として認知症高齢者や知的障害者、精神障害者の成年後見人の受任や、障害者の権利擁護法人の運営等をして8年の実践経験</p> <p>実践的授業の内容： テキストの項目やシラバスの内容に沿って、教員が実践してきた事例（個人を特定できないよう加工）を用いたり、実践内容をソーシャルワークの基本に当てはめて説明を行うことで、学生がより科目内容を具体的に学ぶことができるように学習を進める。</p>							